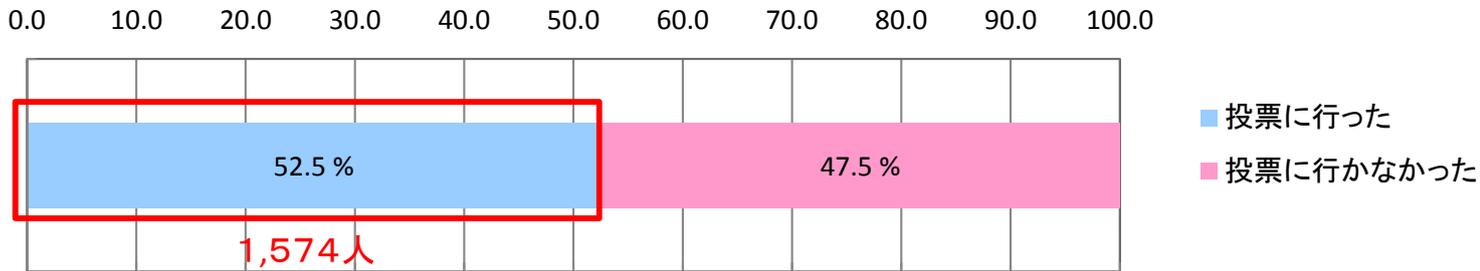


# 18歳選挙権に関する意識調査の概要

- 調査対象  
全国の満18歳～20歳の男女個人3,000人
- 調査方法  
インターネット調査法
- 調査期間  
平成28年10月20日～10月31日

## 投票に行った人の状況

- 投票に行った人は1,574人(全体の52.5%)



## ■投票の方法は、「現在住んでいる市区町村で当日投票」した人が約70%。 <上位5項目>

- ①現在住んでいる市区町村で当日投票 69.6%
- ②現在住んでいる市区町村で期日前投票 16.4%
- ③実家など以前の市区町村に戻り当日投票 4.1%
- ④実家など以前の市区町村に戻り期日前投票 3.8%
- ⑤不在者投票 3.6%

## ■投票の動機は、選挙権年齢の引下げが投票のきっかけとなった人が33.5%。 <上位3項目> ※複数回答

- ①投票をするのは国民の義務だから 39.3%
- ②政治をよくするためには投票することが大事だから 33.9%
- ③選挙権年齢引下げ後に初めて行われた国政選挙だから 33.5%

### 【年齢別】

- ・「投票をするのは国民の義務だから」と回答したのは、20歳が最も多い。  
20歳(41.9%)>19歳(38.8%)>18歳(37.0%)
- ・「選挙権年齢引下げ後に初めて行われた国政選挙だったから」と回答したのは、18歳が最も多い。  
18歳(44.6%)>19歳(38.6%)>20歳(17.9%)
- ・「親や先生から投票に行くように言われたから」と回答したのは、18歳が最も多い。  
18歳(26.3%)>19歳(22.8%)>20歳(19.4%)

■投票した後の感想は、「投票は簡単だった」が最も多い。

<上位3項目> ※複数回答

- ①投票は簡単だった 38.6%
- ②自分で考えて一票を投じることができたので良かった 32.5%
- ③有権者としての責任を感じた 30.0%

■投票に行った人で、今後も投票に行こう思う(※)と回答した人は93.7%。

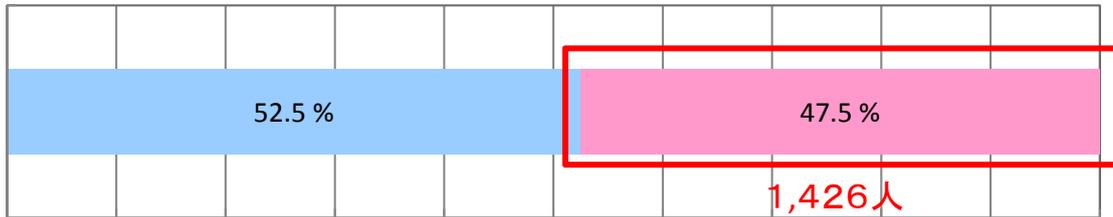
- ①毎回行こうと思う 47.8%
- ②できるだけ行こうと思う 40.9%
- ③関心が持てる選挙だけ行こうと思う 5.0%
- ④積極的に行こうとは思わない 3.3%

※「行こうと思う」には、「今後は毎回行こうと思う」、「できるだけ行こうと思う」、「関心が持てる選挙だけ行こうと思う」を含む。

## 投票に行かなかった人の状況

•投票に行かなかった人は1,426人(全体の47.5%)

0.0 10.0 20.0 30.0 40.0 50.0 60.0 70.0 80.0 90.0 100.0



■投票に行った  
■投票に行かなかった

■投票に行かなかった理由として、「今住んでいる市区町村で投票することができなかったから」が最も多く、年齢別では18歳よりも19歳の割合が高い。

<上位3項目> ※複数回答

- ①今住んでいる市区町村で投票することができなかったから 21.7%
- ②選挙にあまり関心がなかったから 19.4%
- ③投票に行くのが面倒だったから 16.1%

<①の主な回答割合>

【年齢別】

18歳(15.6%)より19歳(27.5%)が10ポイント以上高い。

【地域別】

「関東」(19.6%)や「中部」(19.4%)より、「中国・四国」(25.9%)や「九州・沖縄」(26.8%)が5ポイント以上高い。

■投票に行かなかった人の今後の投票意向は、今後は投票に行こうと思う(※)と回答した人は66.3%。

■今後は毎回行こうと思う ■できるだけ行こうと思う ■関心が持てる選挙だけ行こうと思う ■積極的に行こうとは思わない ■わからない



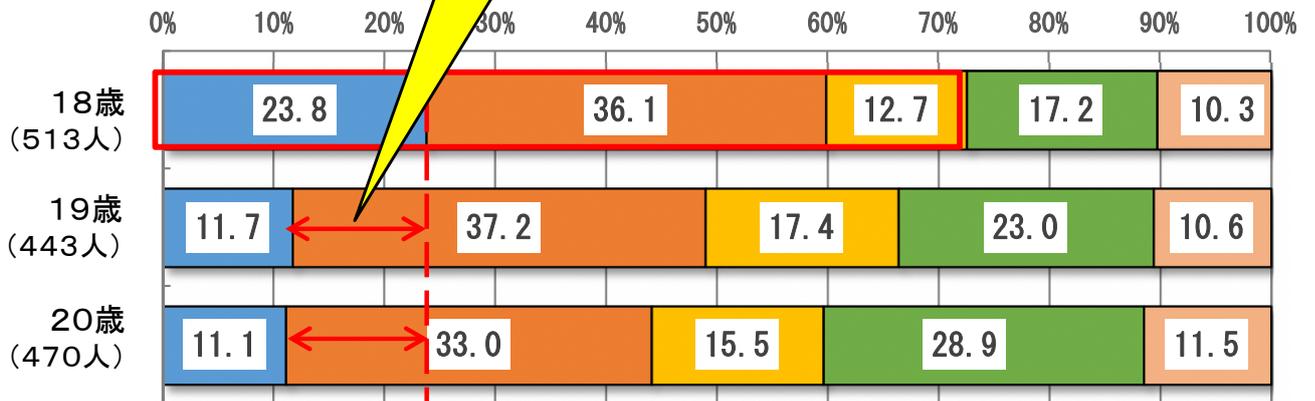
66.3%

※行こうと思うには、「今後は毎回行こうと思う」、「できるだけ行こうと思う」、「関心が持てる選挙だけ行こうと思う」を含む。以下同じ。

■行こうと思うと回答した人のうち、年齢別では18歳が72.6%と最も多い。「今後は毎回行こうと思う」は18歳(23.8%)が他の年代の2倍超となっている。

2倍超の差

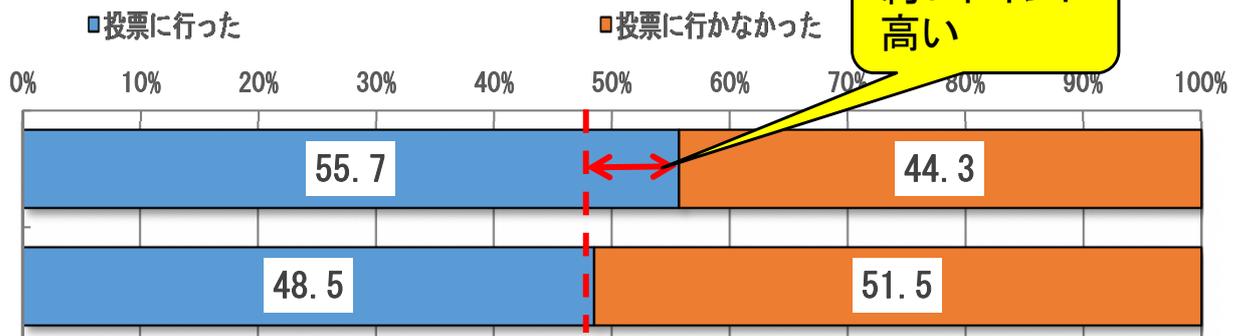
■今後は毎回行こうと思う ■できるだけ行こう ■関心が持てる選挙だけ行こうと思う ■積極的に行こうとは思わない ■わからない



## 高校で選挙・政治に関する授業を受けた人の投票

- 何らかの授業を「受けたことがある」人の方が、投票した割合が約7ポイント高い
- 副教材を使用した授業を受けた人は17.2%

約7ポイント高い



## 【高校時に受けた選挙・政治に関する授業の内容】

<上位3項目> ※複数回答

- ①選挙の仕組みや投票方法を学ぶ授業 25.9%
- ②「私たちが拓く日本の未来」(副教材)を使用した授業 17.2%
- ③選挙や政治に関する新聞記事を使った授業 9.2%

(どれも受けたことはない 39.1%)

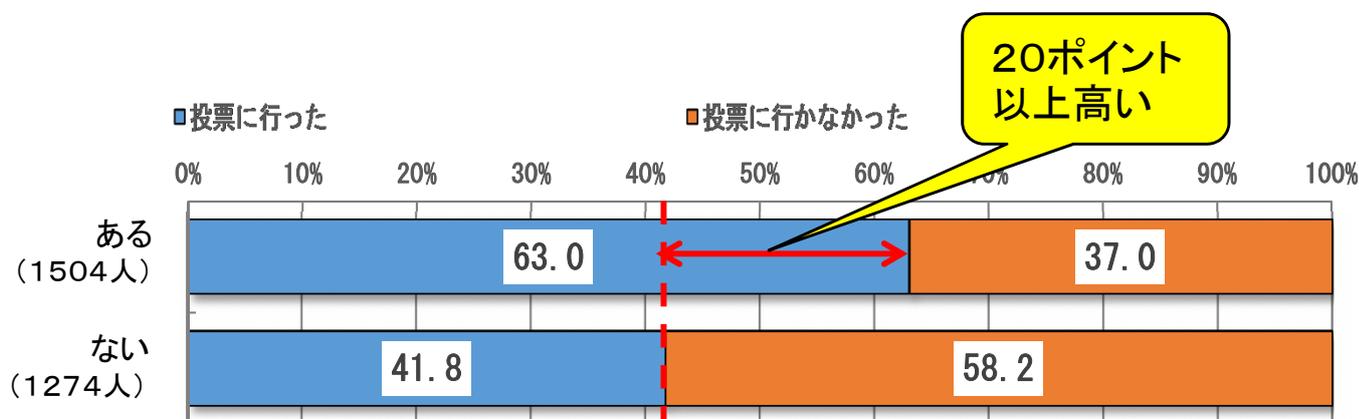
## 【年齢別】

- ・「私たちが拓く日本の未来」を使用した授業」と回答したのは、18歳が最も多い。  
18歳(30.9%) > 19歳(16.8%) > 20歳(4.0%)
- ・「選挙の仕組みや投票方法を学ぶ授業」と回答したのは、18歳が最も多い。  
18歳(28.8%) > 19歳(26.6%) > 20歳(22.2%)
- ・「どれも受けたことはない」と回答したのは、20歳が最も多い。  
20歳(50.0%) > 19歳(38.3%) > 18歳(28.9%)

※「高校」には高等専門学校などを含む。

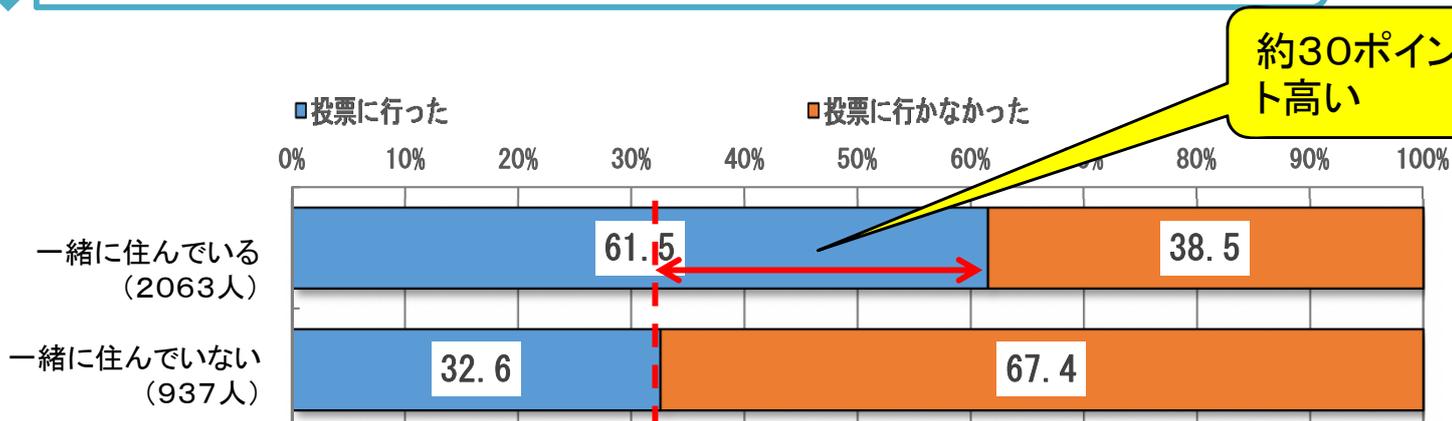
## 子どもの頃に親が行く投票について行った人の投票

- ・子どもの頃に親が行く投票について行ったことが「ある」人の方が、投票した割合が20ポイント以上高い

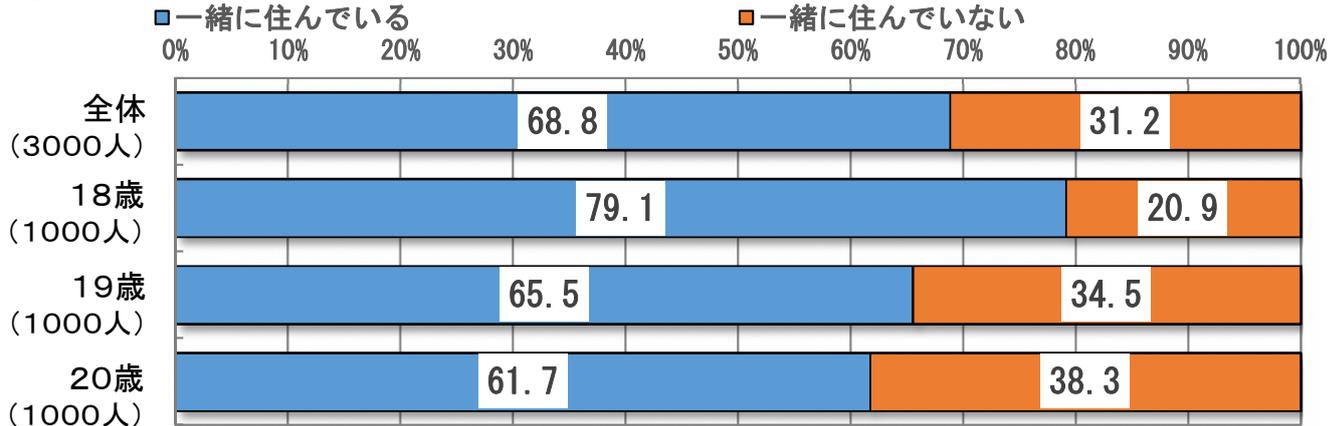


## 親と一緒に住んでいる人・住んでいない人の投票

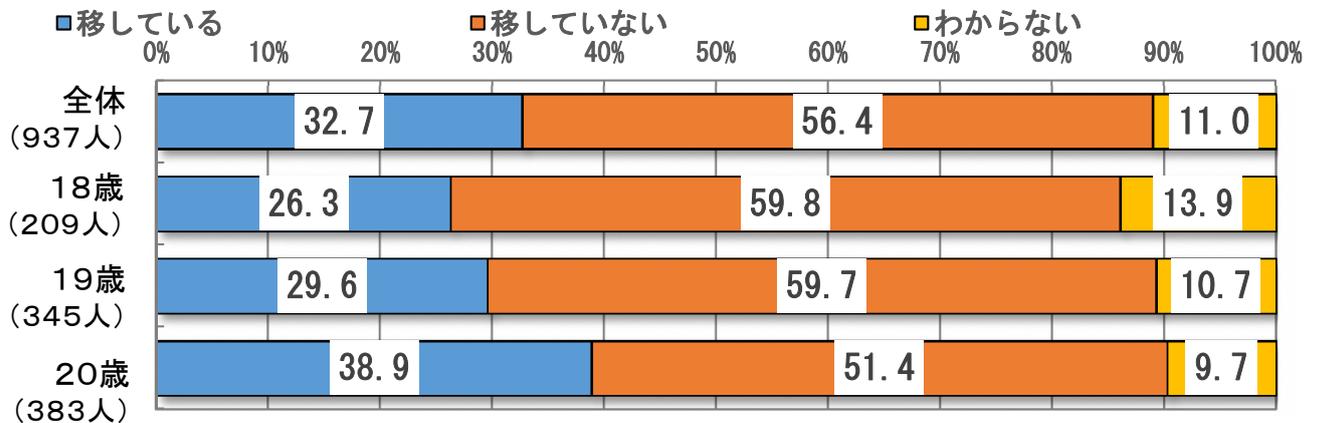
- ・親と「一緒に住んでいる」人の方が、投票した割合が約30ポイント高い



■親と「一緒に住んでいる」割合は68.8%であり、18歳が79.1%で最も多く、年齢が上がるにつれて減少する。



■親と「一緒に住んでいない」人のうち、住民票を「移している」のは32.7%であり、年齢が上がるにつれて増加する。

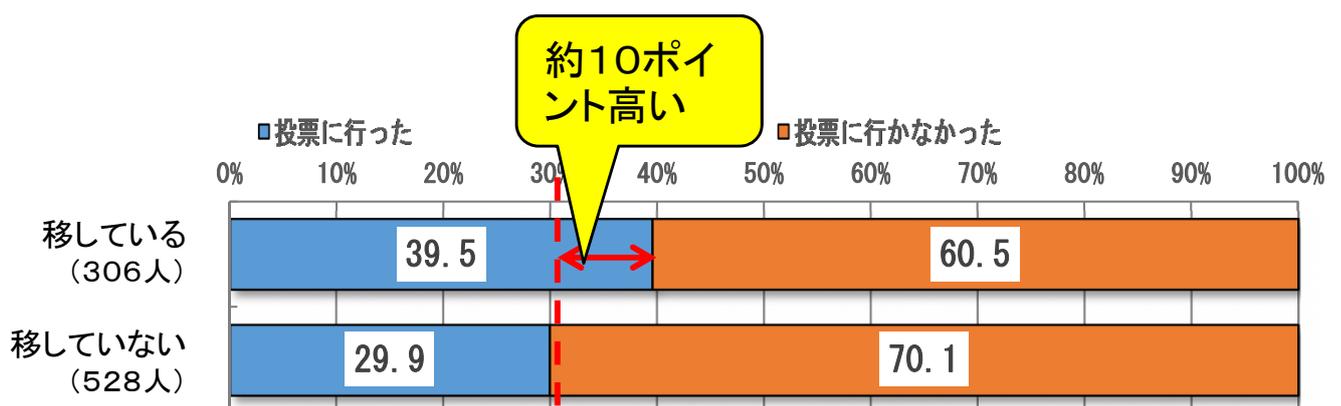


■住民票を「移していない」理由は、「いずれ実家に戻るつもりだから」が最も多い。

<上位5項目> ※単一回答

- ①いずれ実家に戻るつもりだから 29.0%
- ②成人式に参加できなくなるなど不都合が生じたから 17.6%
- ③親が移さなくていいと言っているから 15.2%
- ④移す際の手続きが面倒だから 14.0%
- ⑤移すメリットが思い浮かばないから 13.4%

•親と「一緒に住んでいない」人のうち、住民票を現住所に「移している」の方が、投票した割合が約10ポイント高い



■引越し先の市区町村へ住民票を移す必要があることについては、全体の66.1%が「知っていた」と回答。年齢別では、あまり差がなかった。

<年齢別>

18歳 65.4%  
19歳 68.0%  
20歳 64.8%  
(全体=3000人)

■現在住んでいる市区町村で投票するためには、住民票異動後3か月以上が必要なことについて、全体の38.6%が「知っていた」と回答。年齢別ではあまり差がなかった。

<年齢別>

18歳 38.8%  
19歳 39.5%  
20歳 37.6%  
(全体=3000人)

## 選挙に関する情報の収集

•「インターネットのニュースサイト」よりも、「テレビのニュースや報道番組」と回答した割合が高く、「政党や候補者のポスター」と回答した割合は約37%となった

<上位5項目> ※複数回答

- ①テレビのニュースや報道番組 50.2%
  - ②政党や候補者のポスター 36.6%
  - ③インターネットのニュースサイト 28.9%
  - ④街頭演説 23.8%
  - ⑤女優広瀬すずさんを起用した総務省の選挙啓発ポスター、HPなど 21.3%
- (全体=3000人)

## 高校生が選挙や政治に関心を持つためにすべきこと

•「学校で模擬選挙を体験する」が最も多い

<上位5項目> ※複数回答

- ①学校で模擬選挙を体験する 23.1%
- ②学校で選挙や政治に関するディベートや話し合いを行う 16.8%
- ③議員や政党の関係者に来てもらって政治の話を聞く 13.3%
- ④学校や地域の課題等に関するディベートや話し合いを行う 11.9%
- ⑤学校で選挙や政治に関する新聞記事を使った授業を受ける 11.7%